

100歳おめでとうございます

1月に満100歳を迎えた人に、市長からのお祝いメッセージと祝金が贈られました。



堀本 春子さん
大正4年1月8日生



市の農業を担う若者たちを激励 就農奨励金交付式

1月22日、新規就農者への激励を兼ねて就農奨励金交付式を行ないました。式では3人の新規就農者が未来の農業を担う抱負や決意を語ったあと、市長をはじめ来賓から温かい励ましの言葉が贈られました。

豊かな創造力で市の農業の発展に貢献する新規就農者にお祝いとして市から奨励金を、J A 菊池とクラッシューノこうしから記念品を贈呈。未来の夢を描く若き農業者の姿がひと際輝いていました。



左から浦川美香さん、市長、池田浩史さん、田上伸矢さん

税について考えよう 合志小で租税教室

1月20日、合志小学校で6年生を対象に租税教室が行なわれました。これは、税を身近なものとして感じてもらうと社会科の授業に合わせて菊池法人会が毎年開催しているものです。5回目となる今回も、同会の講師が税の役割などを分かりやすく説明しました。

子どもたちは「消費税はいやだと思っていたけど大切だと思った」「豊かに生活するための税、ちゃんと納めていきたい」と感じたことを述べました。



1億円のレプリカでお金の重さを実感

市内約200haの竹林を守り生かす 合志小4年生が環境学習

1月22日、福原のカマラードで合志小学校の4年生57人が竹炭作りの土窯などを見学しました。

これは環境学習の一環で、地域の環境保全に関する活動として地元の竹炭作りに着目したものです。子どもたちは窯の中の見学後、竹炭とともにできる竹酢液を味見すると、その独特の風味に驚いていました。竹炭を作る野田房義さん（油古閑）は、ふるさとの竹林整備と活用について考えてほしいと思いを語りました。



野田さん（左）と機械で竹炭用の竹を割る子どもたち

元気にぺったん！ 西合志第一小で餅つき

1月17日、西合志第一小学校で、PTA主催の餅つきが行なわれました。学校協力のもと毎年この時期に行なわれる餅つきは、同校の恒例行事になっています。

子どもたちは「本当にぺったんぺったんと音がするんだと思った」「1年生の頃は餅つきの道具が重かったけど、6年生になった今はだいぶ軽く感じる」と話していました。また、石臼を初めて見る保護者もあり、大人も子どもも餅つきを楽しんでいました。



重い杵で一生懸命餅をつく子どもたち

緊急事態に備えて 新型インフルエンザ住民接種訓練

1月19日、御代志市民センターで新型インフルエンザの住民接種訓練を開催し、市健康づくり推進員など19人が参加しました。訓練では新型インフルエンザの流行を想定し、住民がパニックを起こさず安全に接種できるよう、ウイルス感染の基礎知識やワクチン供給の現状などを学び、実際の流れを実演しました。

実演後は、緊急時の市の態勢や住民への周知方法など、参加者からさまざまな質問や意見が出されました。



ワクチン接種の実演で真剣に説明を聴く参加者たち

交通安全活動一筋！ 緑十字金章受章

1月16日、東京都の日比谷公会堂で行なわれた第55回交通安全国民運動中央大会で、塚本文昭さん（中林）が交通栄誉章「緑十字金章」を受章しました。

平成8年から交通安全協会で街頭指導などの交通安全活動を始めた塚本さん。今回は、18年の長きにわたるその功績が認められての受章となりました。

なお、本年度の県内の金賞受賞者は塚本さんを含む2人のみとなっています。



「これまで支えていただいた皆さんに感謝します」と塚本さん

みんなで考えようワークライフバランス 気づきうなずきフェスティバル

1月17日、ヴィーブルで市男女共同参画まちづくり講座気づきうなずきフェスティバルが開催され、約400人が参加しました。

オープニングはヴィーブル合唱団のコンサート。テレビ熊本アナウンサーの尾谷いずみさんの講演では、女性の働き方や家庭内で男女の別なく協力することの大切さが語られ、参加者は最後まで熱心に聴き入っていました。



聞きやすい声で講演する尾谷さん